

# 庄内麦情報 第2号



平成30年4月19日

庄内総合支庁 産業経済部

農業技術普及課

TEL (0235) 64-2103

FAX (0235) 64-2104



**麦の出穂期は、平年並です。  
防除適期を逃さないようにしましょう！**

本年の融雪は、平年に比べ遅くなりました（櫛引アメダス；根雪終了 3月16日）。しかし、融雪後の気温は3月中に平年より高くなったことで生育は回復傾向です。

大麦の生育は草丈 35～40cm で間もなく出穂期を迎え、小麦の生育は草丈 20～30cm で幼穂長 3～13mm と平年並です（4月18日調べ）。

赤かび病の防除時期は田植作業の時期と重なりますが、品質の良い麦を生産するため、適期防除に努めましょう。

表1 4月18日の管内の麦の状況（普及課調べ）

品種	平成30年の出穂期 ( )内は予測	平成29年の 出穂期	平年の 出穂期	備考 (調査場所)
シュンライ (大麦)	(4月20日)	4月20日	4月24日	三川町土口
ナンブコムギ (小麦)	(5月9日頃)	5月2日	5月8日	鶴岡市渡前

表2 赤かび病の防除適期目安

出穂期	赤かび病防除の目安	
	1回目	2回目
4月20日 (大麦)	4月25～27日	1回目の 7～10日後
5月9日 (小麦)	5月14～16日	

赤かび病の防除時期は開花期（出穂期の5～7日後）とその7～10日後です。

出穂期予測を参考に各圃場の出穂期を確認し、適期防除を行いましょ。

**ストップ！ 農作業事故 ～無理せず、ゆとりある農作業を心がけましょう～**

**<春季農作業事故防止運動強化月間 4/10～6/10 実施中>**